



## 2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年11月8日

上場会社名 エステー株式会社

上場取引所 東

コード番号 4951 URL <https://www.st-c.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表執行役社長 (氏名) 上月 洋

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役 (氏名) 吉澤 浩一

TEL 03-3367-6314

四半期報告書提出予定日 2023年11月14日

配当支払開始予定日

2023年12月8日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	22,916	2.3	1,371	16.8	1,808	2.0	1,208	0.9
2023年3月期第2四半期	23,448	0.1	1,649	36.2	1,846	32.0	1,218	34.0

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 1,442百万円 (13.1%) 2023年3月期第2四半期 1,275百万円 (14.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	54.27	
2023年3月期第2四半期	54.80	

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	46,402	33,928	71.8	1,495.71
2023年3月期	46,116	32,961	70.2	1,456.38

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 33,335百万円 2023年3月期 32,390百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		20.00		20.00	40.00
2024年3月期		21.00			
2024年3月期(予想)				21.00	42.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,350	1.7	2,450	1.4	2,800	2.5	1,900	3.9	85.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	23,000,000 株	2023年3月期	23,000,000 株
期末自己株式数	2024年3月期2Q	712,474 株	2023年3月期	759,210 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	22,264,170 株	2023年3月期2Q	22,240,850 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

2023年11月8日(水)の第2四半期決算発表後、速やかに当社ウェブサイト「株主・投資家情報」に記載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	9
(セグメント情報) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済活動の正常化が進む中で、個人消費や企業の設備投資が堅調に推移するなど、景気は緩やかに回復する動きがみられました。一方ロシア・ウクライナ情勢の長期化などの国際情勢の不安定さや、円安・資源高によるインフレ懸念など、依然として先行きに対する不透明感は継続しています。

こうした状況の中、当社グループはブランド価値経営の下、持続的成長を可能にするために、「既存コア事業に集中し高収益化」「原価高騰対策」「成長領域への継続投資」「ESG時代を生き抜くための基盤作り」に取り組んでいます。

当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は、需要が落ち込んだ衣類ケアやハンドケアといったカテゴリが減少し、229億16百万円（前年同期比2.3%減）となりました。

利益面では、主要品目の値上げや、マーケティング費用を抑制し販売費及び一般管理費は減少したものの、原材料価格上昇に伴う売上原価率の上昇により営業利益は13億71百万円（同16.8%減）、受取保険金により経常利益は18億8百万円（同2.0%減）、前期発生した災害による損失がなくなったことにより親会社株主に帰属する四半期純利益は12億8百万円（同0.9%減）となりました。

当社グループの事業セグメントは、「生活日用品事業」の単一セグメントとしていますが、カテゴリ別の業績は以下のとおりです。

エアケア（消臭芳香剤）は、高付加価値品の強化に向けた取り組みを進めています。「消臭力 DEOX」シリーズが落ち込んだものの、「消臭力 Premium Aroma」シリーズにラインナップ追加した心地よい空間づくりをサポートする寝室用フレグランス「消臭力 Premium Aroma For Sleep 寝室用」が貢献した他、「消臭力 Premium Aroma Stick」や「消臭力 トイレ用 Premium Aroma」等の高付加価値品が伸長し、売上高は107億45百万円（前年同期比0.3%増）となりました。

衣類ケア（防虫剤）は、収納スタイルの変化に合わせたクローゼットやウォークインクローゼット用の吊り下げ収納タイプへの注力や、大容量タイプを拡売していく取り組みを進めています。春シーズンは外出機会が増加したことにより購買行動が低迷し、またシーズン後半の機会ロスもあり、「ムシューダ クローゼット用」「ムシューダ 引き出し・衣装ケース用」や「ネオパラエース」といった既存の主力品が落ち込み、売上高は40億31百万円（同9.1%減）となりました。

サーモケア（カイロ）は、収益構造改革に向けた取り組みを進めています。使い捨てカイロの販売価格を見直した結果、売上高は12億18百万円（同9.5%増）となりました。

ハンドケア（手袋）は、機性能性が評価されている業務用手袋の拡売に取り組んでいます。衛生意識の高まりによる需要が落ち着いたこともあり、指先を抗ウイルス加工した「ファミリービニール うす手」手袋や使いきりの極薄手タイプが落ち込み、売上高は25億79百万円（同10.7%減）となりました。

湿気ケア（除湿剤）は、「備長炭」シリーズや「ドライペットクリア」の拡売を強化し、高付加価値品へシフトする取り組みを進めています。タンクタイプは値上げにより貢献したものの、シートタイプが落ち込んだことから、売上高は19億18百万円（同1.2%減）となりました。

ホームケア（その他）は、「洗浄力」や「米唐番」のブランドを育成していく他、育成事業としてペットケア用品拡売への取り組みを積極的に進めています。「米唐番」や「エステーペット」は伸長し、売上高は24億23百万円（同2.7%増）となりました。

カテゴリ	売上高	構成比	前年同期比
エアケア（消臭芳香剤）	10,745百万円	46.9%	0.3%
衣類ケア（防虫剤）	4,031百万円	17.6%	△9.1%
サーモケア（カイロ）	1,218百万円	5.3%	9.5%
ハンドケア（手袋）	2,579百万円	11.2%	△10.7%
湿気ケア（除湿剤）	1,918百万円	8.4%	△1.2%
ホームケア（その他）	2,423百万円	10.6%	2.7%
合計	22,916百万円	100.0%	△2.3%

## （2）財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して2億86百万円増加し、464億2百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少26億86百万円、受取手形及び売掛金の増加22億17百万円、商品及び製品の増加7億43百万円等です。

負債は、前連結会計年度末と比較して6億80百万円減少し、124億74百万円となりました。主な要因は、未払金の増加2億36百万円、その他流動負債の減少2億62百万円、電子記録債務の減少1億90百万円等です。

純資産は、前連結会計年度末と比較して9億66百万円増加し、339億28百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加7億58百万円、その他有価証券評価差額金の増加77百万円等です。

以上の結果、自己資本は333億35百万円、自己資本比率は前連結会計年度末と比較して1.6ポイント増加し、71.8%となりました。

### （連結キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、前連結会計年度末と比較して26億90百万円減少し、113億13百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

#### ① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、16億57百万円の支出（前年同期は4億20百万円の収入）となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益17億95百万円、減価償却費6億21百万円であり、支出の主な内訳は、売上債権の増加額21億82百万円、棚卸資産の増加額7億86百万円、仕入債務の減少額5億35百万円、法人税等の支払額5億37百万円です。

#### ② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、5億35百万円の支出（前年同期は8億89百万円の支出）となりました。支出の主な内訳は、有形固定資産の取得による支出2億45百万円、子会社株式の取得による支出1億50百万円です。

#### ③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、5億72百万円の支出（前年同期は4億20百万円の支出）となりました。支出の主な内訳は、配当金の支払4億50百万円です。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想は、2023年5月8日の決算短信で公表しました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、業績予想は、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,149	11,463
受取手形及び売掛金	6,079	8,296
商品及び製品	5,956	6,699
仕掛品	200	231
原材料及び貯蔵品	1,109	1,169
その他	692	546
貸倒引当金	△33	△48
流動資産合計	28,154	28,357
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,050	4,023
機械装置及び運搬具（純額）	1,611	1,710
工具、器具及び備品（純額）	136	127
土地	3,599	3,611
リース資産（純額）	180	177
建設仮勘定	76	11
有形固定資産合計	9,655	9,662
無形固定資産		
その他	1,358	1,272
無形固定資産合計	1,358	1,272
投資その他の資産		
投資有価証券	5,795	6,084
長期貸付金	4	2
退職給付に係る資産	6	6
繰延税金資産	557	415
その他	585	602
投資その他の資産合計	6,947	7,111
固定資産合計	17,962	18,045
資産合計	46,116	46,402

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,883	2,716
電子記録債務	3,151	2,960
短期借入金	497	529
リース債務	62	70
未払金	1,222	1,458
未払費用	619	612
未払法人税等	646	522
未払消費税等	209	67
営業外電子記録債務	20	178
その他	2,082	1,819
流動負債合計	11,394	10,935
固定負債		
リース債務	79	75
再評価に係る繰延税金負債	262	262
役員退職慰労引当金	100	12
役員株式給付引当金	86	40
退職給付に係る負債	1,216	1,127
その他	15	21
固定負債合計	1,760	1,539
負債合計	13,155	12,474
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,065	7,065
資本剰余金	7,047	7,047
利益剰余金	17,928	18,686
自己株式	△1,002	△942
株主資本合計	31,038	31,857
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,974	2,052
土地再評価差額金	△537	△537
為替換算調整勘定	△119	△66
退職給付に係る調整累計額	34	29
その他の包括利益累計額合計	1,352	1,478
非支配株主持分	570	592
純資産合計	32,961	33,928
負債純資産合計	46,116	46,402

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	23,448	22,916
売上原価	14,045	13,959
売上総利益	9,402	8,957
販売費及び一般管理費	7,752	7,585
営業利益	1,649	1,371
営業外収益		
受取利息	3	6
受取配当金	76	79
仕入割引	63	56
持分法による投資利益	2	-
受取保険金	-	224
その他	76	99
営業外収益合計	223	466
営業外費用		
支払利息	2	5
持分法による投資損失	-	17
為替差損	14	-
その他	8	6
営業外費用合計	26	29
経常利益	1,846	1,808
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産除売却損	1	3
投資有価証券評価損	-	9
災害による損失	33	-
特別損失合計	34	13
税金等調整前四半期純利益	1,811	1,795
法人税、住民税及び事業税	528	406
法人税等調整額	10	112
法人税等合計	539	518
四半期純利益	1,272	1,277
非支配株主に帰属する四半期純利益	53	68
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,218	1,208

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	1,272	1,277
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△139	77
為替換算調整勘定	139	89
退職給付に係る調整額	△4	△4
持分法適用会社に対する持分相当額	7	3
その他の包括利益合計	3	165
四半期包括利益	1,275	1,442
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,162	1,334
非支配株主に係る四半期包括利益	113	108

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,811	1,795
減価償却費	701	621
災害による損失	33	-
固定資産除売却損益 (△は益)	1	3
投資有価証券売却及び評価損益 (△は益)	-	9
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	11	14
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△103	△95
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△6	△88
役員株式給付引当金の増減額 (△は減少)	△5	△46
受取利息及び受取配当金	△80	△86
支払利息	2	5
為替差損益 (△は益)	△50	△70
持分法による投資損益 (△は益)	△2	17
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,934	△2,182
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△336	△786
仕入債務の増減額 (△は減少)	888	△535
未払消費税等の増減額 (△は減少)	76	△141
その他	△352	360
小計	654	△1,205
利息及び配当金の受取額	80	90
利息の支払額	△2	△5
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△311	△537
営業活動によるキャッシュ・フロー	420	△1,657
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△696	△245
有形固定資産の売却による収入	0	3
無形固定資産の取得による支出	△170	△88
投資有価証券の取得による支出	△5	△56
子会社株式の取得による支出	-	△150
その他	△17	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△889	△535
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	30	△3
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△427	△450
非支配株主への配当金の支払額	-	△86
その他	△23	△31
財務活動によるキャッシュ・フロー	△420	△572
現金及び現金同等物に係る換算差額	66	75
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△823	△2,690
現金及び現金同等物の期首残高	11,843	14,004
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,019	11,313

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

記載すべき重要な事項はありません。

（セグメント情報）

前第2四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）及び当第2四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）

当社グループは、「生活日用品事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しています。